

笑顔創造

Smile creation

第14号



「めねぎのうえんのが・ガ・ガーデン!」より：合同出版

発行日 2024年2月21日
発行元 京丸園株式会社
代表取締役 鈴木厚志
〒435-0022
静岡県浜松市中央区鶴見町 380-1
Email kyomaru@ck.tnc.ne.jp
URL <https://www.kyomaru.net>

ゆっくりが褒められる？

みなさんが関わる仕事の中で「ゆっくり・遅い」が褒められる仕事はありますか？

基本的には、仕事と言えば「早く！急で！」と言われることが多いと思います。

私達の農園の中で作業をゆっくりやると褒められる仕事を作り出すことに成功したので紹介します。

『虫取り掃除機：虫トレーラー』です。



野菜に発生する害虫を農薬で殺すのではなく掃除機で捕まえてしまえばいいんじゃないか？と開発しました。掃除機は、急いで動かすとゴミが吸い取れませんから「仕事が雑だ！」と言われます。

虫トレーラーも同じで早く動かすと虫が吸い取れないのでゆっくり機械を動かした方がいいのです。ゆっくり動かすほど虫をたくさん捕まえることができるので「ゆっくり」が仕事で評価されます。

障がいのある人たちの中に三歩あるくと立ち止まってしまうようなひとがいます。彼らは福祉施設の中でも「もう少し早く歩こうよ！」と背中を押されます。

しかし、この虫トレーラーの運転手になってくれたら「君、いい仕事してるね〜！」と褒められるのですから驚きですよ。

同じ人なのに、あるところでは「作業が遅い人」の評価を受けますがるところでは「作業が丁寧な人」と評価されるのです。

障がいがあると言うとつい作業ができないのではと考えてしまいがちですが「特性」として捉えてみると新しい発見につながるのではないのでしょうか？

ユニバーサル農業の視点から農業をデザインしていくとまだまだたくさんの仕事と多様な人達の活躍の場を作り出すことに繋がると思います。

嬉しい手紙

20年以上前に中学校の職場体験で伺った卒業性です。あの時いただいた玄米のおにぎりの味や年賀状の思い出が忘れられなくて手紙を書きました。

当時、障がいがある方は、仕事ができないと思っていましたが私達より早く作業をしていたのを見て「私にとってすごく大事なこと」としてずっと忘れられないものになっていました。

もし私が障がいのある方を雇うとしたらとても難しいことのように思います。

(中略)

なぜこのような手紙を出したのかというと私も今はこの地域の為に働いて志を持って植物の仕事に取り組んでいるからです。

あの時の学生がどこかでがんばっているんだな ぐらいでそのくらいのことですが 学生の頃の大切な思い出を作って下さりありがとうございました！胸をはってどこかで出会えるように引き続きがんばります。

東部中学卒業性より

お手紙ありがとうございました！

20年前のことを覚えてくれていたことがとても嬉しいですし農業に通じる仕事に携わっていることで仲間意識を感じます！ユニバーサル農業の取組が決して無駄ではないよと励ましをいただきました。私達も、胸をはって卒業生さんにお会いできるよう精進していきます。お会いできる日を楽しみにしています。

☆2024年2月28日 水曜日 13時～ YouTube 配信あり

ユニバーサル農業シンポジウムinはままつ

会場：浜松市地域情報センター ホール

申し込みはこちらから→



◎韓国・オランダ調査報告

「これからのユニバーサル農業・農福連携」2025年世界会議に向けて!!

～今月の活動～

2月1日 佐賀県 ユニバーサル農業

2月3日 台湾 ユニバーサル農業

2月3・4日 静岡経営塾

2月12日 浜名湖アグリフォーラム

2月15日 滋賀県長浜市 ながはまアグリネットワーク

2月23日 愛知県 自然栽培

2月26日 韓国 治癒農業研究

2月28日 ユニバーサル農業シンポジウムinはままつ

2月29日 日本農福連携協会 農園型障害者雇用問題研究会

◎参加できます！毎月開催

3月8日金曜日 浜松建設的な生き方を学ぶ会

19:00～21:00 開催場所：京丸園

オリジン・コーポレーション 杉井保之氏をお招きしての勉強会

今月のことば

視点を換えれば

評価は変わる